

自治体と市民との連携や共通認識の醸成

脱炭素型ライフスタイルを考えるワークショップ in 北九州・鹿児島

赤木 純子

北九州アーバンセンター
リサーチマネージャー



本ワークショップの狙い

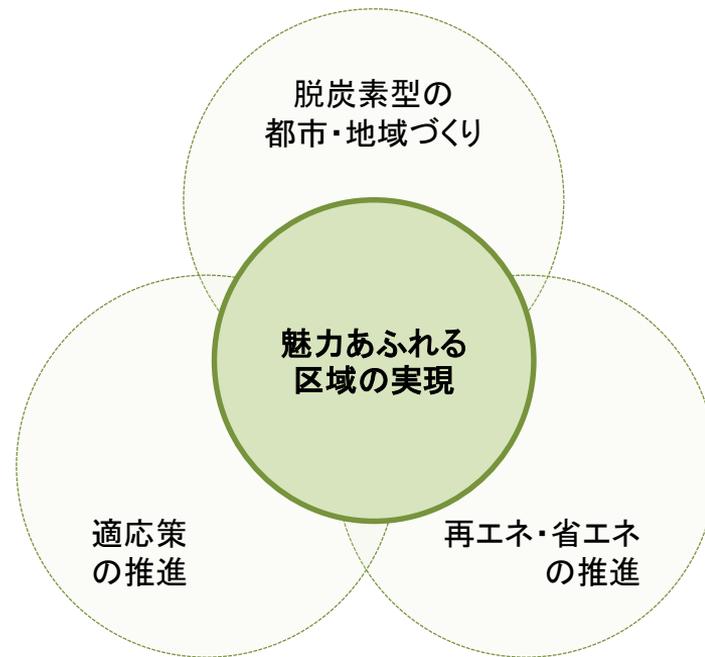


- パリ協定の1.5°C目標達成につながるライフスタイルについて認識を共有する。
- 地域住民のライフスタイルを変えていくためには何をすれば良いかを考える。
- 住民の声を自治体に届けて政策の企画立案や実施に役立ててもらおう。



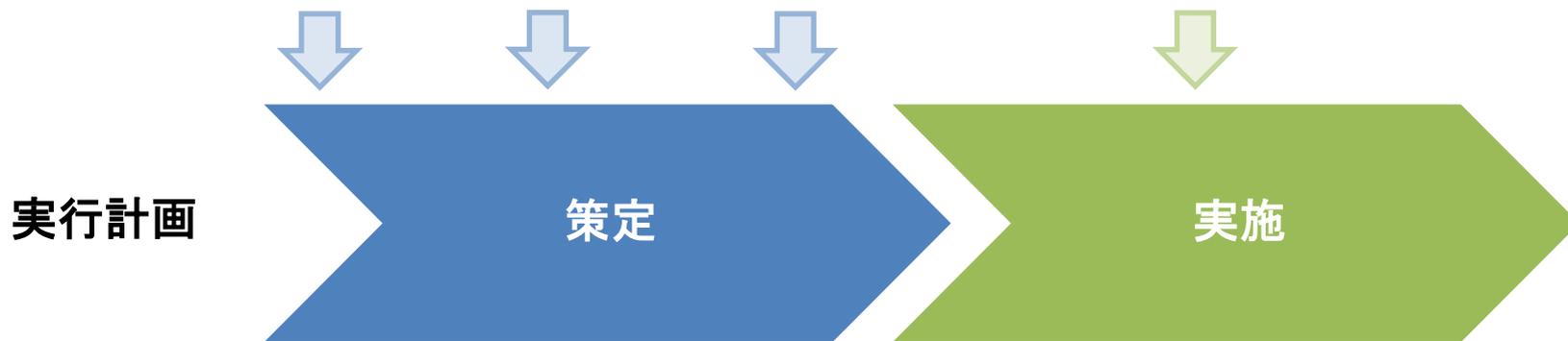
住民の意向を組み込んでゼロカーボンシティを実現する。

背景：日本国内のゼロカーボンシティの広がり



ゼロカーボンシティの実現に住民の協力は不可欠、でも・・・

住民アンケート 審議会 パブリックコメント 随時関係者間での合意形成が必要

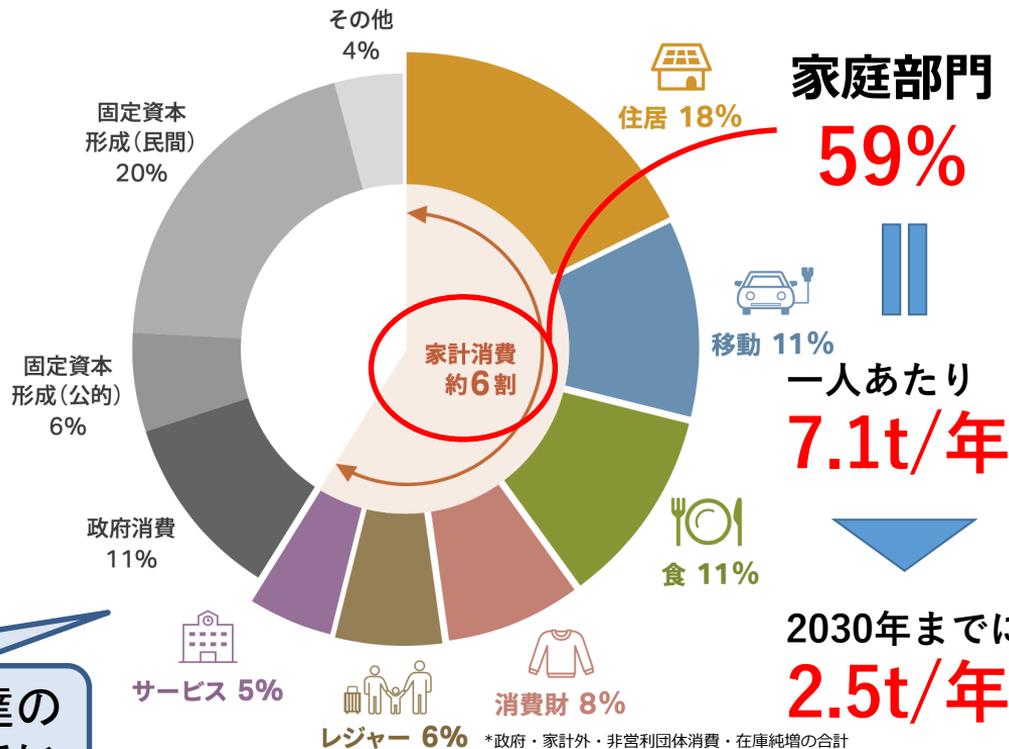
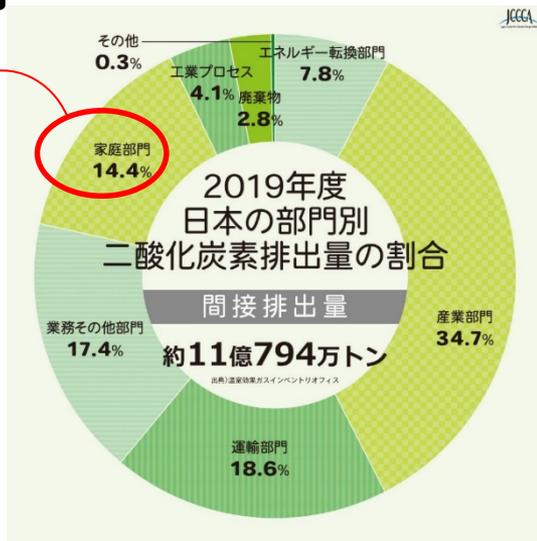


市民参加型の対話の機会が組み込まれると良いのでは

ゼロカーボンシティの実現に住民の協力は不可欠、でも・・・

家庭部門

14%



カーボンフットプリントでは自分達のライフスタイルによるところが大きい

出所:南斉規介 (2019) 産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID) 国立環境研究所; Nansai et al. (2020) Carbon footprint of Japanese health care services from 2011 to 2015. Resources, Conservation & Recycling, 152.; 総務省(2015) 平成27年産業連関表に基づき作成

全体スケジュール



01 事前準備

- 説明動画を視聴する
- オプションカタログを確認する
- アンケートに答える



事務局から、ワークショップの説明動画、日常生活の中で実践できる行動を集めた「オプションカタログ」、アンケートなどを第1回ワークショップの1週間前頃にお送りします。事前に動画の視聴、カタログの内容確認、アンケートの回答を済ませておいてください。

02 ワークショップ (1回目)

- オンラインワークショップに参加する



対話の内容

- ・ オプションの理解と体験共有
- ・ オプション採用率と支援策

03 家庭実験 (2週間)

- 選んだ行動を実践する



ワークショップで選んだ行動を日常生活の中で実践します。実際にどれくらいできるか、どんなサポートがあったら続けられるかなどを考えながら2週間チャレンジしてみてください。皆さんの実践結果をもとに、事務局が「北九州市民の考える1.5℃ライフスタイル2030」(下記「脱炭素型ライフスタイル」って何?」参照)の草案をまとめます。

04 ワークショップ (2回目)

- オンラインワークショップに参加する



対話の内容

- ・ 家庭実験からの気づき
- ・ 1.5℃ライフスタイルのメリット (複数オプションの組み合わせ+スケールアップの効果)

結果反映

報告書
作成
(事務局)

1.5℃
ライフスタイル
2030



- ・ 北九州市版
- ・ 鹿児島市版

- 北九州市ーオンライン開催
- 鹿児島市ー実地開催

鹿児島ワークショップの様子



移動



エネルギー



食・製品



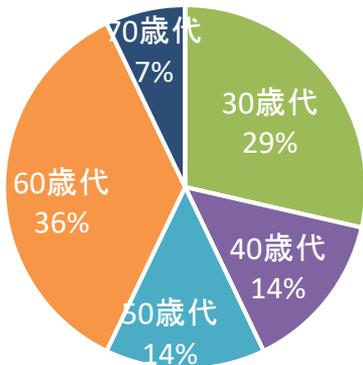
目標を共有した上で、
ライフスタイルの部門毎に
何ができるか・必要か、
参加者間の対話を促進



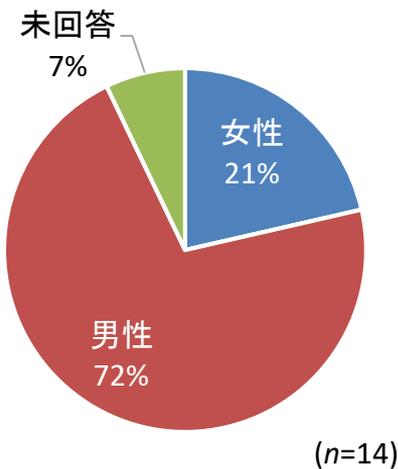
ワークショップの参加者属性

北九州市

年齢層



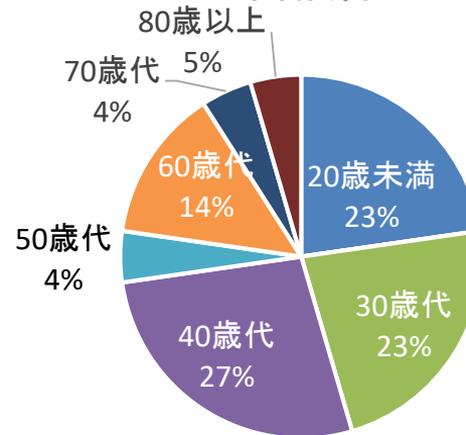
性別



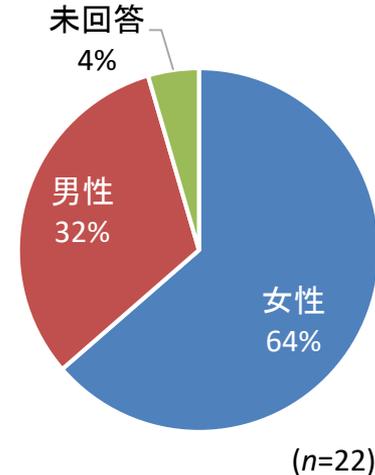
比較的高年齢層で構成。男性が多め。

鹿児島市

年齢層



性別



幅広い年齢層で構成。女性が多め。

ワークショップの効果

- ✓ ライフスタイル・カーボンフットプリントを用いることで、温暖化対策を自分事として捉えてもらうことができた。
- ✓ 地域の状況を踏まえて進めるべき・進めるのが難しいライフスタイルのオプションを確認できた。また、必要な支援策についても意見を聞くことができた。
- ✓ 家庭実験を通して、ライフスタイルの転換を図る上での課題やベネフィットを確認できた。

副次的な効果

- ✓ 対話を通じて参加者間の繋がりをつくることができた。
- ✓ 家庭実験を通じて、各家庭の中でも対話が促進された。

今後の予定

03 家庭実験 (2週間)

○ 選んだ行動を実践する

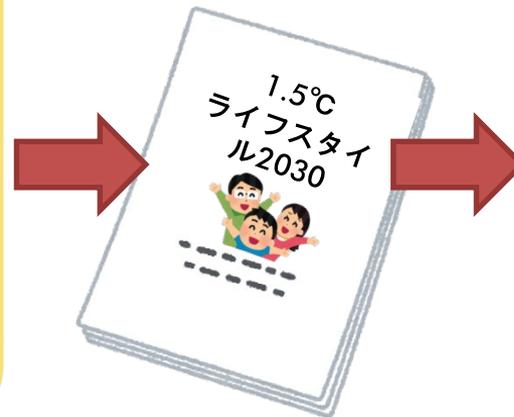


04 ワークショップ (2回目)

○ ワークショップに参加する



年度末(予定)
情報を統合して作成



来年度以降

- 地域ステークホルダーと連携し、具体のアクションを展開
- 北九州市
- 鹿児島市



- 方法論の精査
- 他都市での開催